

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : 0.35mol/l硫酸カリウム溶液
 会社名 : 関東化学株式会社
 住 所 : 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-2-1
 担当部門 : 試薬事業本部 企画管理部 資料課
 電話番号 : 0120-260-489
 F A X 番号 : (03)3241-1047
 メールアドレス : BC32@gms.kanto.co.jp
 整理番号 : 32897

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
 引火性液体 : 区分外
 自然発火性液体 : 区分外
 健康に対する有害性
 急性毒性（経口） : 区分外
 環境に対する有害性
 水生毒性（急性） : 区分外
 水生毒性（慢性） : 区分外

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 単一製品
 化学名又は一般名 : 硫酸カリウム
 成分及び含有量 : 硫酸カリウムの約5.7%水溶液
 化学特性（示性式） : K_2SO_4
 官報公示整理番号
 化審法 : 1-454
 安衛法 : 公表
 C A S N o . : 7778-80-5

4. 応急措置

吸入した場合 : 直ちに新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。
 皮膚に付着した場合 : 直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。
 目に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。
 飲み込んだ場合 : 直ちに水を飲ませる。

5. 火災時の措置

消火剤 : この製品自体は、燃焼しない。
 使ってはならない消火剤 : 特になし

特定の消火方法 : 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

: 作業の際は、必要に応じて適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項 : 特になし

回収、中和 : 漏洩した液は、紙、布などで拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : できるだけ皮膚などに付けないようにする。

保管

適切な保管条件 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

管理濃度 : 設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会 (2009年度版)

: 設定されていない

ACGIH (2009年度版)

: 設定されていない

保護具

呼吸器用の保護具 : 特に必要ない。

手の保護具 : 必要に応じて保護手袋を着用する。

眼の保護具 : 必要に応じて保護眼鏡を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

形状 : 液体

色 : 無色

臭い : 無臭

pH : 5.5-7.5

沸点 : 約100°C

融点 : 約0°C

引火点 : 不燃性である

密度 : 約1.0g/ml

溶解性

溶媒に対する溶解性 : 水 ; 自由に混合

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常条件で安定である。

避けるべき条件 : 日光、熱

11. 有害性情報

急性毒性 : 経口 : 区分外

経皮：データ不足のため分類できない。

吸入（蒸気）：データ不足のため分類できない。

吸入（粉塵・ミスト）：データ不足のため分類できない。

多量に経口摂取すると高カリウム血症を起こすことがある。

（硫酸カリウムとして）

ラット 経口 LD50=6600mg/kg

皮膚腐食性・刺激性：データ不足のため分類できない

眼に対する重篤な損傷・刺激性

：データ不足のため分類できない

呼吸器感作性又は皮膚感作性

：呼吸器感作性：データ不足のため分類できない

皮膚感作性：データ不足のため分類できない

生殖細胞変異原性：データ不足のため分類できない

発がん性：データ不足のため分類できない

生殖毒性：データ不足のため分類できない

特定標的臓器・全身毒性－単回暴露

：データ不足のため分類できない

特定標的臓器・全身毒性－反復暴露

：データ不足のため分類できない

吸引性呼吸器有害性：データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性

：水生毒性（急性）：区分外

水生毒性（慢性）：区分外

（硫酸カリウムとして）

甲殻類（オオミジンコ） EC50=891mg/l/48H

残留性／分解性：データなし

土壌中の移動性：データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

：多量の水で希釈し、pHを確認した後、下水に流す。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

容器

：空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制

適用法令なし

国連分類

：分類基準に該当しない

輸送の特定の安全対策及び条件

：輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実にを行う。

15. 適用法令

化学物質管理促進法：非該当

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法 : 非該当

16. その他の情報

引用文献

化学大辞典 共立出版社 (1963)

15710の化学商品、化学工業日報社 (2010)

*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の実用を対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しており、JIS Z7250:2010に基づいて作成した製品安全データシート(MSDS)と記載事項は同一です。